

学校名	市川市立行徳行学校
授業者	眞下 諒

## 1. 単元計画

### 1-1. 単元名

行徳・海物語 ～ 第三次 江戸川の生き物を守ろう ～

### 1-2. 学年

第4学年

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、社会科

### 1-4. 単元の概要

行徳小学校の位置する場所は、江戸川（放水路）の徒歩圏内である。この川は、大規模洪水を防止するため、増水した江戸川の水を東京湾に流すために作られた川である。下流域は、潮の満ち引きにより、両岸に干潟が現れる。そのためカニや貝類などの生き物も多く、春から夏までは、潮干狩りや生き物を捕まえることができ、自然を身近に感じることができる場所である。

3年生の時に江戸川の生き物に触れ、実際に飼う活動を行っている。また日頃から放課後や休みの日に家族で干潟に遊びに行き、自然と触れ合っている児童もいる。しかし、江戸川の生き物の生態や環境について考えている児童は少ないと考える。

そこで本単元では、まず江戸川に実際にいき、生き物を捕まえたり、観察したりすることでより興味を持たせる。生き物と触れ合ったことで「持って帰りたい」や「育てたい」という気持ちが出てくることが予想される。実際に生き物と触れ合った経験から、育てていくためにどうすればよいかを考え、どんなことが必要か個々で課題を設定し、それを解決するための方法を探り、実践へと結び付けていく。

生き物を育てた経験から、命の大切さを学び、その命を守っていくためには生育環境が重要であると考えられる。そこから江戸川の問題に目を向け、自分たちの身近な場所にある貴重な自然を守っていかうという態度を育てていく。環境問題に対して自分たちができることを調べ、実践し、自分たちが地域のために活動しているという意識で取り組ませる。

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校の徒歩圏内には、江戸川（放水路）がある。潮の満ち引きにより、両岸に干潟があらわれる。そのため、カニや貝類など生物も多く、春から夏までは潮干狩りができ、自然を身近に感じられる場所である。しかし、この恵まれた環境を十分に生かすことができていない現状がある。そこで、江戸川に棲む生き物やそれらを育む環境と触れ合う活動を継続的に設定することで、生き物の命と成育環境（海）にはつながりがあることを理解させ、それらを大切にすることを育てたいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

相手に合わせて、考えを伝わりやすく工夫したり、資料の必要などところだけ書き抜いたりすることができる児童は少ない。児童が必要感をもって取り組むことのできる単元を開発することで、総合的な学習の時間の中で、「まとめ・表現する力」を身につけさせたい。

1-7. 単元の展開（全 25 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
社会科	<p>○暮らしの中で使っている水がどのような仕組みで送られてくるのかや、水の行方を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川から浄水場を経て、学校や家に送られていることを知る。</li> <li>・使った水が終末処理場できれいになって江戸川にいくことを知る</li> </ul>	<p>◎江戸川の水が使われていることを強調し、見直せるように掲示しておく。</p> <p>☆水が送られてくる仕組みや行方を知ることで、江戸川の水が生活の中で使われていることに関心を持つ。《関・意・態》（社会）</p>
1	<p>○「江戸川的环境」のイメージマップを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に行った経験や調べてきたことをもとに環境について思いつくことを出し合う。</li> </ul>	<p>◎「江戸川的环境」について行った時のことを想起させ、イメージを広げていかせる。</p> <p>☆自分の考えと友達のことをつなげ、イメージを広げることができる。《かかわる力》</p>
2	<p>○地元の方をゲストティーチャーに招き、昔の江戸川についての話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の江戸川では遊べたり、生き物がたくさんいたり、今よりも環境がよかったことを知る。</li> </ul>	<p>◎昔の江戸川的环境を知ること、今の江戸川と比較し、環境に対して課題を持たせる。</p> <p>☆わかったことから課題を持つことができる。《課題設定力》</p>
4	<p>○江戸川的环境を守るための取り組みを調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネット、インタビューなどでどんな取り組みがあるか調べていく。</li> </ul>	<p>◎本やインターネット、家の人へのインタビューで調べられるように支援する。</p> <p>☆新たな取り組みを調べようとするすることができる。《探究する力》</p>

1	<p>○調べてきたことを分類しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調べてきたことを観点別に分類する。</li> </ul>	<p>◎座標軸を使い、観点をはっきりさせ、理由をつけて個人で分類させる。</p> <p>☆調べてきたことに理由をつけて観点ごとに分類することができる。《表現する力》</p>
1	<p>○調べてきたことを分類して自分たちができることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調べてきたことと友だちが調べてきたことをグループで分類し、まとめていく。</li> </ul>	<p>◎座標軸を使い、観点をはっきりさせて分類させる。</p> <p>☆調べてきたことを分類しながら自分でできることを考えることができる。《かかわる力》</p>
2	<p>○これからの活動計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水をなるべくきれいに使うことやごみ拾い、その取り組みを知ってもらう計画を立てる。</li> </ul>	<p>◎社会との関連を意識させるようくらしと水を振り返らせる。</p> <p>◎自分たちだけでなく、周りの人への意識を持たせる。</p> <p>☆江戸川環境を守るために自分たちにできることを考え、手立て・計画をたてることできる。《探究する力》</p>
5	<p>○自分たちにできることを実践し、感じたことや気づいたことを共有しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきたことを学校や家で実践し、感じたことや気づいたことを共有する。</li> </ul>	<p>◎話し方の例を掲示し、実践したとと感じたこと、気づいたことを友達に伝えられるようにする。</p> <p>☆感じたことや気づいたことを友達と共有することができる。《かかわる力》</p>
6	<p>○調べてきたことを発信しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川環境を守るために調べてきたことを知ってもらう方法を話し合う。</li> <li>・話し合ったことを活かして発信する。</li> </ul>	<p>◎相手意識を持たせ、どんな方法が伝わりやすいのか明確にさせる。</p> <p>☆相手意識を持って発表の方法を考え、発表することができる。《実現する力》</p>
3	<p>○発信したことの振り返りをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに発信したことの振り返りを行う。</li> <li>・これからの自分たちの生活にどのように生かしていくのかを話し合う。</li> </ul>	<p>◎学習前と後の自分たちの生活の変化をワークシートに書かせる。</p> <p>☆これからの自分の生活を考え、学習したことを生かす方法を考えることができる。《実現する力》</p>

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

### 2-2. 本時の目標

調べてきたことを分類しながら自分でできることを考えることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○前時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちが調べたワークシートを準備する。</li><li>・事前に情報を書いた付箋を準備する。</li></ul> <p>○本時の学習のめあてを知る。</p>	<p>◎学級ポートフォリオを確認しながら、前時の学習を振り返り、本時の学習を想起させる。</p>
<p>調べてきたことを分類して 自分でできることを考えよう！</p>	
<p>○本時の流れを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・調べてきたことを座標軸にまとめていく。</li></ul> <div data-bbox="150 1173 544 1386" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>「自分でできる」 「お家の人と協力してできる」 「簡単」</p></div>	<p>◎全体の流れを伝えることで学習の見通しを持たせる。</p> <p>◎整理しやすいように付箋 1 枚に情報を 1 つ書かせておく。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・まとめたことを全体で共有する。</li><li>・振り返りをする。</li></ul> <p>○座標軸のまとめ方を知る。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 調べてきたことを発表する。</li><li>(2) 同じ意見がある場合は付箋を重ねる。</li><li>(3) その付箋が軸のどこに分類されるか話し合う。</li><li>(4) 分類出来たら次の人が発表する。</li><li>(5) ①に戻る。</li></ol>	<p>◎確認ができるようにまとめ方の手順を掲示しておく。</p>

- グループで調べたことを伝え合い、分類していく。
  - ・確認した手順で分類をしていく。

#### 予想される分類

- 自分でできる・簡単
  - ・食べ残し、飲み残しをしない
  - ・シャンプーやボディーソープなどの洗剤を使いすぎない
- 自分でできる・難しい
  - ・米のとぎ汁を流さない
- お家の人と協力・簡単
  - ・排水溝にネットを付ける
  - ・洗い物洗剤を使いすぎない
- お家の人と協力・難しい

- グループで分類した結果を発表する。
  - ・グループで分類した結果を発表していく。

- ◎調べてきたことを友達に伝え、友達の意見とのつながりを意識しながらまとめられるように分類させる。
- ◎うまく話し合いが進まないグループには声掛けをしていく。

☆調べてきたことを分類しながら自分でできることを考えることができる。

《かかわる力》



- ◎自分でできることを中心に結果を発表させる。
- ◎簡単に取り組めるものを実践していくことや他にできる取り組みを調べたいという意欲を持たせる。

### 3. 今回の活動の自己評価

今回の活動において、身近な自然である江戸川の生き物を題材にしたことで児童の学習意欲を高めて始めることができた。実際に江戸川へ行き、自然を感じながら生き物と触れ合うことは児童の好奇心を高める活動であっただろう。そして、その好奇心は、「育ててみたい」「もっと観察したい」という気持ちへとつながっていった。この気持ちがその後の活動の基盤となったので導入として、効果的だったと考える。

また、水族館という目標が児童にとって魅力的であったと考える。様々な工夫を考え、試行錯誤して活動を進めることができた。その活動を通して、友達と協力しながら、調べたことを伝えるために「まとめ・表現する力」をつけていった。

身近な生き物や自然への興味関心を高めていくことについては、生き物を捕まえる・育てるという経験が大きなものとなった。環境を守っていききたいという思いを持つようになり、学校では水を大切に使うようにしたり、家庭で洗剤を使いすぎないようにしたりするなど意識を高めることができた。

単元全体を通して、生き物の命と環境について関心を強め、生活に生かしていこうとする態度を養うことができたと考える。

#### 4. 今後の課題

全体を通して児童の学習意欲を高めた状態で、活動を進めることができた。しかし、江戸川の生き物の特徴や飼育方法についての情報を集めることが難しかった。専門家とさらに連携を取り、疑問を解決できる方法を準備する必要があった。また、生き物を捕まえる時期や飼育する期間などを年度初めに明確にすることで学習をスムーズに進めることができたのではないかと考える。

江戸川的环境を守る活動を進めていく中で、成果が目に見えないことが児童に達成感を与えられなかったと考える。学習の達成感を生むために、成果がよりわかるような学習を計画する必要があると考える。

#### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 生き物の飼育をする環境整備（水槽、エアポンプ、餌、塩分濃度計 等）
- ・ 生き物の飼育に対する専門的な知識（生き物の飼育環境、飼育できる時期 等）
- ・ 専門家との協力連携体制